

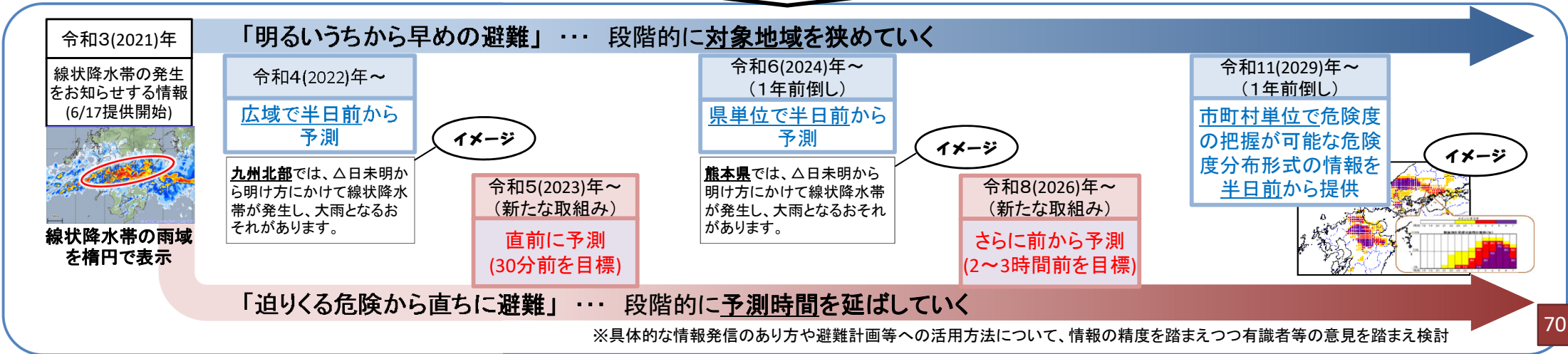
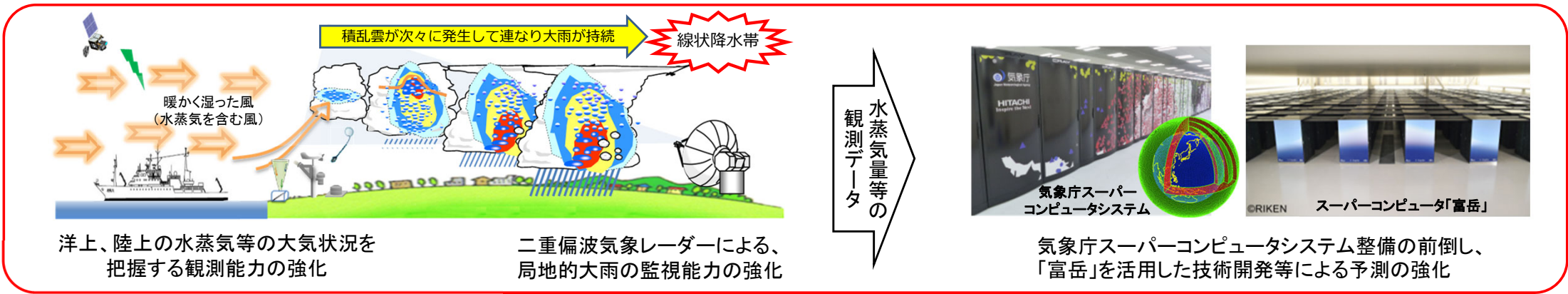
① 施策の目的

近年頻発する線状降水帯等による集中豪雨から国民の生命・安全を守るため、線状降水帯の予測精度向上を前倒しで推進し、令和4年度より、予測精度向上を踏まえた線状降水帯の発生の予測を開始後、段階的に精度を向上する。

② 施策の概要

線状降水帯を引き起こす積乱雲のもととなる水蒸気量等を正確に把握するための水蒸気観測等を強化する。また、気象庁スーパーコンピュータ整備の前倒しや「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進めるとともに、気象庁・気象台の体制を強化する。

③ 施策の具体的内容



① 施策の目的

人家・公共施設等に被害を及ぼすおそれのある盛土の安全性把握のための詳細調査や、切迫した危険性のある箇所の緊急的な対策について、地方公共団体により早急に対応する。

② 施策の概要

盛土総点検で確認された危険が想定される盛土の対策について、行為者等による是正措置を基本とし、公共として切迫した危険性のある箇所の緊急的な対策として詳細調査（応急対策工事を含む）を実施する。

③ 施策の具体的内容

<盛土の総点検について>

- 8/11に都道府県に対し、関係府省の連名にて、盛土の総点検を依頼。
- 許可・届出資料等の確認から先行的に行いつつ、9月中旬に全国の総点検予定箇所数を集約
- 年内に点検の暫定とりまとめを行い、点検状況等を踏まえ対応方策を検討

- 全国の総点検予定箇所数：約4万箇所
※今後の精査により増減があり得る

点検スケジュール

8月10日	第1回関係府省連絡会議 (点検方法の決定等)
8月11日	地方公共団体に点検を依頼
9月中旬	全国の点検箇所数のとりまとめ（ナンバリング）
年内	点検の暫定とりまとめ

対応方策の検討

- 危険箇所の対策（事業対応）
 - ・ 行為者による是正措置を基本に、各省で危険箇所対策（盛土の撤去、対策工等）、詳細調査等の予算を措置
 - ・ 土地利用区分等によらず、同様の支援制度とする
- 今後の危険な盛土防止（制度対応）
 - ・ 土地利用規制など安全性を確保するために必要な対応策の検討
 - ・ 廃棄物混じり土の適正運用



※「盛土による災害の防止に関する検討会」（令和3年9月30日）資料をもとに作成

事業主体：地方公共団体 補助率：1/2、2/3

① 施策の目的

ALPS処理水の海洋放出に伴い、漁業者の方々が懸念されている風評影響を最大限抑制しつつ、仮に風評影響が生じた場合でも、水産物の需要減少への対応を機動的・効率的に実施することで、漁業者の方々が安心して漁業を続けていくことができるようにする。

② 施策の概要

ALPS処理水の海洋放出に伴い、万一風評が生じた場合でも緊急避難的措置として、水産物の販路拡大や、冷凍可能な水産物の一時的買取り・保管等を支援する。また、漁業者の方々の風評への懸念を払拭するため、ALPS処理水の安全性に関する理解醸成を実施し、風評影響を最大限抑制すべく取り組む。

③ 施策の具体的内容

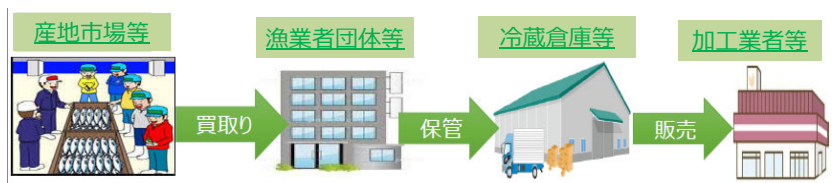
(1) 水産物の販路拡大等の取組への支援

- 企業の食堂等への水産物の提供を支援
- 水産物のネット販売等、販路拡大・開拓を支援



(2) 冷凍可能な水産物の一時的買取り・保管への支援

- 買取・冷凍保管等に必要な資金の借入金利を支援
- 冷凍保管等に係る経費を支援



(3) 福島第一原発のALPS処理水に関する広報事業

- 消費者に向けた多様な媒体・方法による広報活動の実施
- 公正な取引が行われるよう、流通事業者等に対する説明会等の実施



(広報パンフレット)



(流通事業者向け説明会)



(現地視察ツアー)